

■西村天四 ジャーナリスト。長く「朝日新聞」の主筆を務め、多くの名文を遺した。

にしむらてんしゅう

薩摩藩士密航1865＝ 大隅国種子島西之表で、薩摩藩の支藩種子島家の上士の子に生まれる。

幼にして父を失い、

明治維新・・1868＝ 3歳：

初の日刊新聞1870＝ 5歳：郷儒前田豊山に就いて漢学を学び、

明治6年政変 1873＝ 8歳：

佐賀の乱・・1874＝ 9歳：

三つの反乱・1876＝11歳：藩校種子島学校に入学。

・・・・・1880＝15歳：上京し、重野成斎の内弟子となり宋学を修めるかたわら、島田篁村の双桂精舎に入って経学を学ぶ。

明治14年政変1881＝16歳：

岩倉具視没・1883＝18歳：東京大学文学部附属古典講習科漢書課の官費生として入学、

国民之友始・1887＝22歳：官費制度廃止のため退学。＊「屑屋の籠」前篇を博文堂から出版し、一躍文名を馳せる。

初の対等条約1888＝23歳：_同後篇、「活局腹」などを発表後、滋賀県知事中井弘の推挽で天津の「さゝ浪新聞」に主筆として入社。

帝国憲法発布1889＝24歳：_「大阪公論」に移り、「天囚雜綴十種」「維新豪傑逸事」などの読物を連載。

帝国議会始・1890＝25歳：＊同紙の廃刊により、「大阪朝日新聞」の編集局に移籍。

足尾鉋毒始・1891＝26歳：_渡辺霞亭・本吉欠伸らと「浪花文学会」を興し、機関誌「なにはかた」を発行して小説・評論を発表。

大本教・・・1892＝27歳：

郡司千島探検1893＝28歳：_シベリア単騎横断の福島安正中佐をウラジオストックに出迎えて取材、「単騎遠征録」として長期連載。

日清戦争始・1894＝29歳：日清戦争に従軍後、

日清戦争終・1895＝30歳：＊「東京朝日新聞」の主筆に就任。

八幡製鉄始・1897＝32歳：_宇都宮太郎大尉と同道して清国に赴き、排日派の重鎮湖広総督張之洞に面会しその説得に成功。

ピアノ国産化・1900＝35歳：_清国に留学、多くの通信文を送り、

田中正造直訴1901＝36歳：

教科書疑獄・1902＝37歳：_帰国後、現地での知見を社説・読物として執筆。

日露戦争終・1905＝40歳：

韓国反日暴動1907＝42歳：_以降、「宋学的首倡」を55回にわたり連載、

_この間、中井秋瓦庵の懷徳堂再建のため奔走、

伊藤博文暗殺1909＝44歳：_これを「日本宋学史」として出版、名著として知られる。

韓国併合・・1910＝45歳：新聞社主宰の第2回世界旅行会に同行。

明治天皇没・1912＝47歳：_明治天皇御大葬にあたり執筆した「誄辞」は一代の名文として著名である。

民本主義・・1916＝51歳：京都帝国大学講師を委嘱される。

本格政党内閣1918＝53歳：_く米騒動>にかかわるいわゆるく白虹事件(大阪朝日新聞筆禍事件)>で、鳥居素川派が退社した後を受けて編集顧問に就任、長大な社説「本社の本領宣明」を発表。この年懷徳堂再建成る。

べつじん条約・1919＝54歳：＊勤続30年の表彰を受け、退社し社友となる。

大暴落・・・1920＝55歳：文学博士の学位を授与される。島津家臨時編纂所編纂長に就任。

原敬首相暗殺1921＝56歳：京都帝国大学講師を辞め、宮内省御用掛、勅任待遇錦鶏間祇候に任ぜられ、

関東大震災・1923＝58歳：_この年発表の「国民精神作興の詔書」を全智を傾倒、辛苦して起草し、

護憲三派圧勝1924＝59歳：_没した。